

学校だより No.11

白 樺

令和3年6月15日 (火)

泉崎村立泉崎中学校

発行責任者 校長 桑原 透

泉崎中スローガン

- 1 明るく元気なあいさつ
- 2 健康・安全
- 3 「自他共栄」
- 4 「一歩改革」

目指す学校像

- 1 安全で安心して生活できる学校
- 2 生徒・教師が楽しめて「今日も来てよかったなあ」と思える学校
- 3 生徒が主体となって活動し、明るく活気のある学校
- 4 学校・保護者・地域が連携し、共に成長していく学校
- 5 保護者や地域から信頼される学校

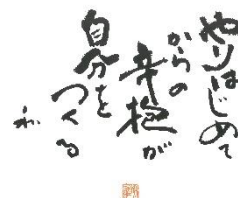
18日(金)は期末テストです

来週はいよいよ今年度初の定期テスト、一年生にとっては

中学生として初めての定期テストです。16日(水)からは部活動なしとなります。ご家庭での学習状況はいかがでしょう。

福島県では平成29年の12月に「家庭学習スタンダード」(保存版)を作成し、学校を通して全家庭に配付しました。

その中で最も大事なものは「生徒自身が自分で学習や生活を改善する力」つまり「自己マネジメント力」を養うことであると言っています。また、子供たちが自己マネジメント力を育むための、学校・家庭・地域の役割の重要性やかかわり方についても書かれています。「家庭学習スタンダード」の内容についても理解され、子供たちの家庭学習を充実させるためにご協力ください。



18日(金)時間割

1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
国語	数学	英語	理科	社会	学活

【家庭学習スタンダードより】

「自己マネジメント力」を育む家庭・地域の関わり

心の支え

新しいところはあった？ できるようにするためには、どうしたらよいかな？

△になるためには、△△をやってみるのもよいかもね。

あなたは、ものを教えることが上手だね。

こつこつと頑張ってるって、すごいことよ。

将来は、どのような職業に就きたいの？

人は成功するより、失敗することのほうが多いものよ。

ずいぶん集中していたね。

この前のテストで、△△ができていたね。

何のお子さんとは比べないほうがよいと、気を付けなさいと……。

ちよとした変化に気付いて、認めてあげることが大切ね……。

● お子さんが「自分のよさ」を自覚したり、将来の夢や目標の実現を意識したりできるようにする。

● お子さんのノートや学習プリントなどを見て、頑張った過程を認める。

● 学校からの体調に併せて、保護者からのコメントを書いたリ、権威印を押したりする。

● 自分の成功体験や失敗体験を話す。 など

環境づくり

プリントを整理するファイルが必要ね。

新聞に△△について載っていたよ。読んでごらん。

来週の日曜日に、△△に行つて、一緒に調べよう。

二曜日は家族みんなで読書をしませうよ。

△△検定に挑戦してみたらどうかな。

△△検定に挑戦してみたらどうかな。

読書は、集中力を高める効果もあると聞いたことがあるな……。

● テレビを消すなど、お子さんが集中して学習できる環境をつくる。

● 目が届くところに、お子さんがいつでも相談できる環境をつくる。

● 地域行事の予定などを、前もってお子さんに知らせる。

● 興味をもちそうな本や新聞記事を紹介する。 など

習慣づくり

計画では、1日○○分だったよね。

すぐに学習を始めたね。

夕食は、○時を目安に食べよう。

目標を貼っておくと、やる気が出るわよ。

ゲーム、スマホは○時までね。

今度のテストに向けて、どのような目標を立てるの？

子どもとルールを決めることが大切ね……。

● お子さんに、やらなければならぬことややってほしいことなどを気付かせる。

● 「起床時刻」、「就寝時刻」、「学習を始める時刻」を決めさせる。

● 家族みんなで規則正しい生活を心がける。 など

小学校低学年では、学習態度の育成を！

小学校低学年では、望ましい学習態度を育成することが大切です。

- 宿題をきちんとやること
- 宿題を正しく持ち、丁寧に文字を書くこと
- 正しい姿勢で学習すること
- 声を出して、はっきり発音すること

などを意識させ、しっかりと付くまで聞いてあげてください。

小学校高学年からは、自主や自分を運ぶ力を徐々に伸ばしていきましょう。

家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

お手伝い。体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、動機性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。

視点1

心の支え

- コミュニケーションを大切に、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。
- 自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、安心感を与えてあげましょう。

福島県PTA連合会長からのメッセージ

今こそ必要、大人の背中

昔から「子どもは親の背中を見て育つ」と言います。大人の背中には、子どもたちに明るい未来を指し示す発信力があるのだと願います。子どもたちが誇りをもち、夢をもち、将来に希望と自信のもとで教育環境をつくりながら、今後子どもたちのためにどうあるべきかを、大人の背中で考えたいと思います。

視点2

環境づくり

- 学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。
- 家族と一緒に読書をする機会を設けましょう。
- 図書館・公民館などの利用や体験活動を促しましょう。
- 地域行事に積極的に参加させましょう。

視点3

習慣づくり

- 早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。
- 朝ごはんは、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。
- テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決めましょう。



“eye to eye” 対面あいさつ

生徒会は、日本一あいさつが素晴らしい学校にしよう!と「やまびこあいさつプロジェクト」を行っています。今回のテーマは対面あいさつ 合言葉は“eye to eye(アイトウアイ)”です。先週の朝会で校長先生から、「あいさつは ころろ が伝わらなくては意味がない。」「だから相手の め を見て大きな声で!」という話がありました。昨日の朝会では、生徒会長から「やまびこあいさつプロジェクトの強化キャンペーン」の実施について全校生徒に呼びかけました。内容は6月25日まで学級ごとに朝の学活で対面あいさつをする時間をとるというものです。

相手の目を見て、気持ちのいいあいさつができるようにしたいですね。ご家庭でも意識してあいさつしてみてください。

特集 『発達障害 ②』

【発達障害とは① 発達の特性によって生活に障害がおこること】

発達障害の子には、特有の性質があります。それを特性と言います。特性は背の高さや利き腕と同じようなものです。

発達の特性：子どもが生まれながら持っている特有の性質。発達障害の子の場合には「認知特性」と「行動特性」があり、それらが総合的に「対人関係が苦手」「落ち着きがない」などの生活上の特性として現れる。

- (1) 認知特性：見方や聞き方、感じ方など、ものごとの認知の仕方に他の子との違いがある。記憶の強さや仕方が違う子もいる。
- (2) 行動特性：話し方や学び方、体の動かし方など、行動の仕方にほかの子との違いがある行動を調整することが難しい。



原田中学校HP 原田中
原田中学校HP 原田中
原田中学校HP 原田中
原田中学校HP 原田中